一般財団法人　アメノトリフネ　～天鳥船～　のご案内

AMENO・TORIFUNE

天鳥船

コンセプト

アメノトリフネ　～天鳥船～は

鳥のように世界中を自由に往来し、

AI、デジタルやアナログなど
さまざまな表現手法を駆使し、
その国や土地の素晴らしさを発見・再評価する

勇敢なクリエイターたちが集う船です。

概要

名称　一般社団法人アメノトリフネ

▹目的

当法人は、最先端の技術領域を切り拓く
勇気あるクリエイターたちの支援を通して、
デジタル・アナログを融合させた素晴らしいアートを
社会に創出し、文化の発展に寄与することを目的として、
以下の事業を行います。

（1）デジタルコンテンツ等のアート作品
　　及びインスタレーションの企画・制作

（2）クリエイターの活動領域の拡大
　　及び地位向上を実現するプラットフォームの構築

（3）その他、AIによる構造設計など、当法人の目的を
　　達成するために必要な諸事業

▹理事

代表理事：宝利 修
理　　事：尾上 宗玄
理　　事：谷津 正樹
理　　事：西谷 剛史
監　　事：高谷 朋世

▹所在地　　〒**530-0001**
大阪府大阪市北区梅田1丁目2番2号大阪駅前第2ビル12-12
▹TEL　080-5315-1305
▹営業時間　10:00-18:00
mail　　info@ametori.net

設立経緯

国や地域の美しさや楽しさ、そして素晴らしい文化を伝えたい。
言語や世代、性別を問わず、多くの人に届けたい。

伝えたい人には饒舌な表現力が、個々に動くクリエイターたちには
スキルを向上・融合させて発表する機会が、それぞれ不足している
のが現状です。

クリエイターたちの真の創造性を引き出して
地域に暮らす人々の文化や企業活動の素晴らしさを伝えたい。

様々なスキル、映像、音楽、照明や遊具、
装飾を組み合わせ、その魅力をあますところなく表現し、
五感に直接訴える効果的な空間やエリアを出現させたい。

様々な分野のクリエイターが集って新しい価値を生み出し、
そんな想いをプロジェクトとして常態的に成立させたい。

「分野を横断して創造性を発揮する
　勇気あるクリエイターたちが集い
　社会と文化の発展に寄与する」

というミッションを得て、

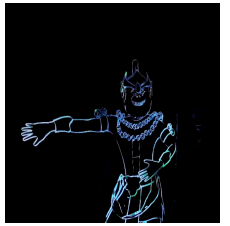
アメノトリフネ　～天鳥船～は 、
2020年11月4日に設立されました。

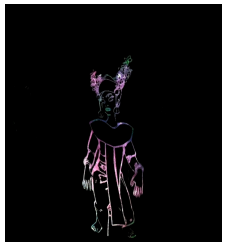
実績例

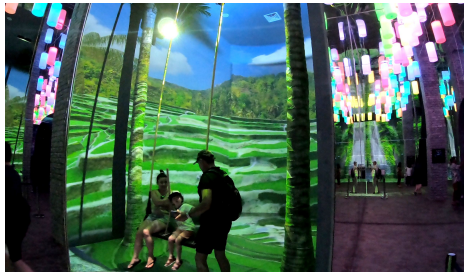
TransStudioMall in Bali
(projection mapping)

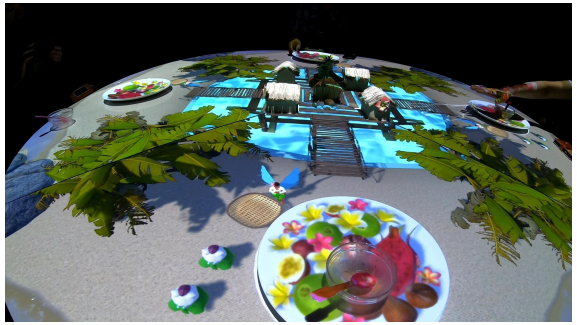
インドネシア、バリ島のショッピングモールに作られた、バリの魅力を体験・体感してもらうための巨大なエンタテイメント。
『五感』をテーマとした5つのゾーンが、バリに今も息づく文化や風景の鼓動を、訪れた人々に訴えかけます。

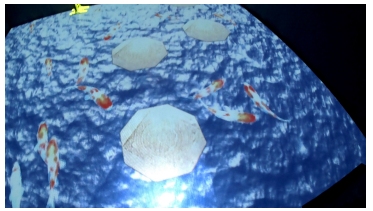
手や足で触れることで変化が生まれる幅40m高さ7mの巨大映像や、動きに合わせて360度の展望が大きく移り変わってゆくブランコ、バリ伝統の踊りを再現したアート、かわいい妖精たちが食べ物を運ぶ、味と香りの飲食エリア、星空とバリの写真に包まれるドーム空間など、随所にさまざまな映像・プログラミング・音楽など技術と演出が活かされています。











会員構成とコミッション

入会金；2万円
年会費：賛助会員（法人）一口 3万円、個人会員 1万円、
学生会員 3千円（入会金不要）
※基金拠出者およびアドバイザーは別途規定による

会員は、単独では受注できないが問い合わせがあったり、キャパオーバーになってしまう案件、
研究していきたい案件、面白そうでやってみたい案件などを、アメノトリフネのメンバーとして
共有し、プロジェクトとして進めることができます。キャスティングやコストの相談もできます。

会員のコミュニティやサロンおよび案件共有は原則オンラインで行います。

また、案件紹介者へのコミッションとして；受注時総額の10% を財団の基金から拠出します。
尚、受注総額の15%を財団の運営費に充当しますが、会員が制作に携わった利益やコストは、
会員本人の利益となります。

基金：6百万円：2020年12月16日現在

由来

ロゴタイプ・マーク

AMENO TORIFUNE　～天鳥船～の由来

天鳥船（アメノトリフネ）とは、
日本古来の神話の時代に登場し、
大空を鳥のように飛翔する船とも
伝えられています。

勇敢なクリエイターたちが、そのアメノトリフネと共に
さまざまな土地に降り立ち、その土地や場の魅力を
創造性と技術を駆使して表現してゆく。

このビジョンを表わす言葉として、
日本発祥のプロジェクトチームを
「アメノトリフネ～天鳥船～」と名付けました。